



ふれあい KORIYAMA FIRE DEPT. 消防 119

2019年
(令和元年)

vol. 1
(7月号)

尊い命を未来へ 私たちができること



郡山市立芳賀小学校のみなさん

編集
発行

郡山地方広域消防組合消防本部 総務課
☎024-923-1740

ウェブサイト

check!



集中豪雨・台風への備えは万全ですか？



集中豪雨や台風などにより、全国各地で大規模な被害が毎年発生しています。日頃からの備えと、万が一の場合の行動についてチェックしましょう。

日頃からの備え

ハザードマップで危険箇所を確認

お住まいの地域のハザードマップで、危険箇所や避難所を確認しましょう。

なお、危険箇所の表示がない場所でも、雨の降り方などによって浸水などの被害が発生することがあります。



非常時の持ち出し品を準備

懐中電灯、携帯ラジオ、常備薬、非常食、飲料水、貴重品などを準備して、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

また、乳児がいるご家庭では、ミルクや紙おむつなども準備しておきましょう。



建物や周囲の点検・整理

建物の点検とともに、周りにある風に飛ばされそうなものは固定するか、屋内に片づけてみましょう。バルコニーの排水口や側溝を清掃し浸水対策をしましょう。

また、低い土地の場合は「土のう」などをあらかじめ準備しておきましょう。



家族の安否確認の方法を決める

別々の場所にいるときに災害が発生した場合でも、お互いの安否を確認できるよう、日頃から安否確認の方法や集合場所を決めておきましょう。万が一連絡が取れない場合は、災害用伝言ダイヤル(171)を活用しましょう。



自然災害は、時に広範囲かつ甚大な被害をもたらします。「自らの命は自らが守る」という自助の意識を持ち、自分は災害に遭わないという思い込みで陥ることなく、自らの判断で避難行動をとることが原則です。

万が一の場合の行動

防災気象情報や雨の降り方を確認

空の様子や雨の降り方に注意するとともに、テレビやラジオ、スマートフォンなどを活用し、防災気象情報を随時確認しましょう。

また、事前情報なく、急に大雨が降りだす場合もあります。空の様子が変化したときや、急激に気温が低下したときなどは注意しましょう。



避難情報が発令されたらすぐに避難

避難情報が発令されたり、身の危険を感じたら、すぐに避難しましょう。避難するときは、動きやすい服装で、一人では行動せずに、家族や近所の人と一緒に行動しましょう。

また、夜間や大雨の中で、指定避難場所へ移動することが逆に危険な場合もあります。あらかじめ、近くの自主避難場所を決めておくなど、状況に応じて適切に避難先を選択しましょう。



災害への心構えを高める

雨の降り方や周囲の状況に注意
危険を感じたら自主避難

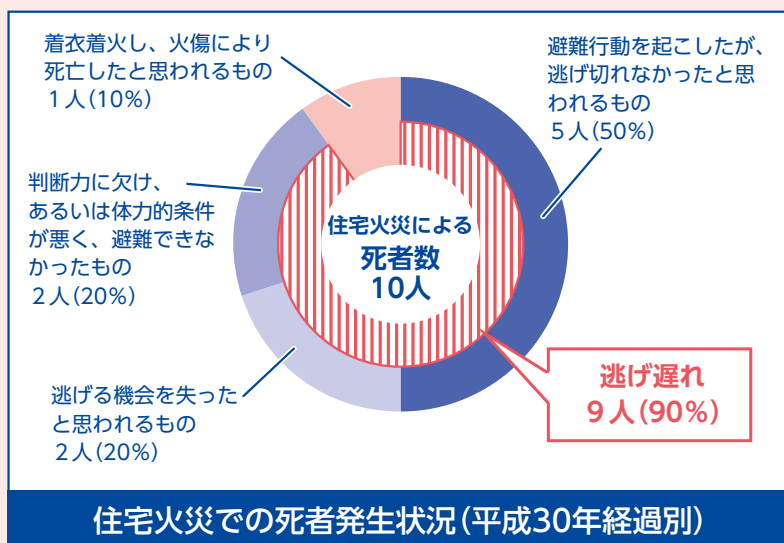
いつでも避難できるよう準備
避難に時間を要する人(高齢者、障がいのある方、乳幼児)とその支援者は避難開始

全員避難

命を守る行動をとる

住宅火災から命を守るために！

住宅火災による死者のほとんどは逃げ遅れ



平成30年に本組合管内で発生した住宅火災で、10人の尊い命が失われています。

死亡するに至った経過を分析すると、90%が「逃げ遅れ」によるものでした。

また、これらすべての住宅で、住宅用火災警報器が未設置でした。

火災による「逃げ遅れ」を防ぐためには、いち早く火災に気づくことがとても重要です。

住宅用火災警報器は、火災を早期に発見して知らせることで、皆さんと皆さんの大切なご家族の命を守ります。

皆さんとご家族の命を守る

住宅用火災警報器の設置は義務付けられています！



本組合管内では、平成23年から、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられていますが、いまだに設置していないご家庭が約25%あります。

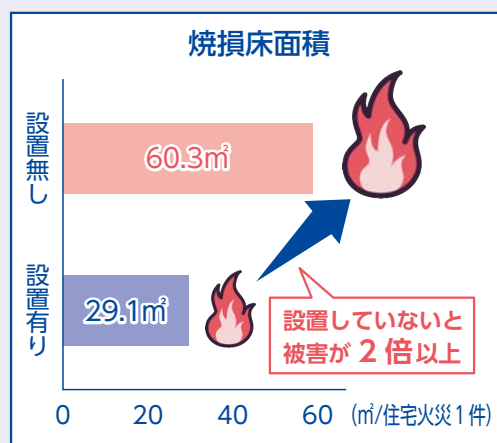
郡山地方広域消防組合火災予防条例により、**すべての住宅の、すべての寝室、階段(寝室が2階以上にある場合)に「煙式」の住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。**

住宅用火災警報器は、ホームセンターなどで購入できますので、未設置のご家庭はすぐに設置しましょう。

また、住宅火災1件あたりの平均焼損床面積を比較すると、住宅用火災警報器を設置していない住宅は2倍以上も多く燃え広がります。(平成27年から平成29年の全国のデータを元に消防庁が算出)

火災の発生を少しでも早く発見し、逃げる時間をつくり命を守るとともに、被害を少なくするためにも住宅用火災警報器を設置して、万が一の場合に備えましょう。

なお、設置から10年を過ぎた住宅用火災警報器は、本体の電子部品の寿命や電池切れなどにより、火災を感知できなくなることがありますので、交換を推奨しています。



奏功事例

住宅用火災警報器を設置してよかった！

就寝中に住宅用火災警報器の警報音で目を覚まし、室内の火に気づいたことで消火することができボヤで済みました。原因は電気コードを、家具で踏みつけていたことで、被覆が損傷してショートし周囲のゴミ等に燃え移り出火したものです。もし、住宅用火災警報器が設置されていなければ、発見が遅れて命を落していた可能性もありました。

火災ゼロ NEWS

安全で安心な暮らしをサポート！
火災予防に関する様々な情報をお届けします。

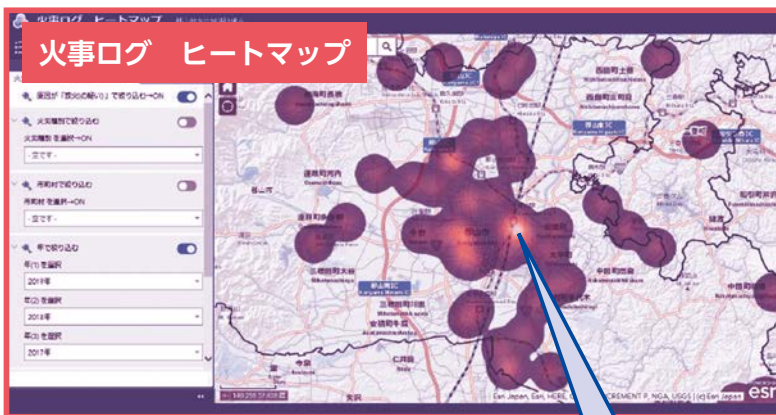
「火事ログ」はじめました！

郡山消防 火事ログ

火災のデータをシェア(共有)し、**火災ゼロ**をめざす！



火災の種類によってマークがちがうよ！



青から赤、さらに白くなるほどその地域の火災件数が多いことを示しています

「火事ログ」ってなに？

管内で発生した過去の火災を
地図に「見える化」しました。

どんなことがわかるの？

- 10年分の火災データを公開しています
- 火災の種類や時期で自由に検索できます



さらに！

「ヒートマップ」を使えば、
火災の多いエリアが一目瞭然！

具体的にどう活用するの？

自分の住む地域で放火の多いエリアをマップ上で確認し、防火の意識を高めましょう。



PCの方は
郡山消防ウェブ
サイトから！

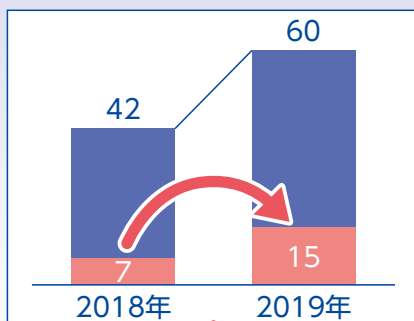


スマホの方は
左のQRコードから！

いざ！ 防災

— 使える防災情報コラム —

火災件数の比較(5月17日まで)



放火が2倍以上に!!

— 火災件数の増加 —

今年の火災件数を昨年の同時期と比較すると、18件増加しています。

さらに原因を、「放火」に絞ると2倍以上の増加となっています。(左グラフ参照)

「放火」による出火は、毎年本組合管内の火災原因のトップにあげられます。今年は例年にも増して放火件数が多いことが全体の件数増加に影響を及ぼしています。

※「放火」には「放火の疑い」も含まれます

— 放火を防ぐ —

全国的にみても、「放火」は火災原因のトップにあげられます。

「放火」を防ぐには「放火されにくい環境づくり」が重要です。放火は、住宅街、山林に限らず人通りが少なく、燃えやすいものが放置されている場合で多く発生しています。

具体的な対策として、家の周りに燃えやすいものを置かない、整理整頓をする、人通りの少ない場所には、監視カメラやセンサー付屋外灯の設置などが有効です。

身近なリスクを再認識するために、ぜひ「火事ログ」でお住まいの地域の状況をご確認ください!!

つたえる 予防 ひるば

今回は、火災調査官率いる火災調査の専門部署、
今年度から新設となった **火災調査係** を紹介します。

火災調査係って？

火災が起きた際の消防の任務で、消火活動とともに重要なのが火災の原因を究明することです。そのための調査を「火災調査」と言います。

火災調査は消防行政の原点とされており、消防行政施策の多くは、この火災調査結果から得られた資料に裏付けられています。



火災調査係は、火災調査を主な業務とし、消防学校、消防大学校で火災調査についての専門教育を受けた職員で構成されています。

火災調査は通報の内容、現場での情報収集、鎮火後の現場見分により、火災現場全てを検証します。焼損状況を見極め、どこから出火し、どの方向に延焼したのか、また出火の原因を探し出します。火災調査係が火災現場から収集した情報は統計資料として、今後の火災予防や消防行政施策、さらには消火活動上、必要不可欠な

ものとなっています。

また、こういった調査から得たデータを詳細に分析します。

前ページに掲載したデータや火事ログも、火災調査係が作成運用しています。

マクロな視野とミクロな視点

火災調査の結果は、司法機関や捜査機関にとっても重要な資料となることも多く、裁判に証拠として提出することもあります。



このように、信ぴょう性の高い調査が求められるため、火災調査係はマイクロスコープ(デジタル顕微鏡)やガス検知管(灯油、ガソリン等識別)等、科学的な手法を用いた調査を行っております。なお、一度掘り出した現場は元に戻すことができないため、係員には常に慎重な作業が求められます。

時には全焼した家から1cm程の電源プラグの刃を探し出すこともあります。



火災は減らせる

火災の原因は、犯罪(放火)、放置、不適切、施工整備不良がほとんどで、放火以外は、火災に対する意識の低さが原因とも言えます。

また、整理整頓がされていない家庭から多く発生しています。

つまり、意識や生活習慣を見直すことで大きく火災件数を減らすことができます。

そのために、今後イベント等で、住民の皆さんの前で火災実験を行い、火災の怖さや原因を訴えていきます。究極の目標は「火災ゼロ」です。

火災調査は、過酷な環境の中で、非常に根気が必要な作業ですが、がれきの中から火災原因につながる小さな糸口を見つけた時、大変やりがいのある仕事だと感じます。



火災豆知識

～意外な火災原因・小さな火種編～

火災には様々な原因があります。中にはこんなものが？というものも。
今回は小さな火種が原因で火災になった事例を4つ紹介します。

CASE 1 仏壇の線香が座布団に落下し**出火**

CASE 2 お墓の線香が風に煽られ枯草から**出火**

CASE 3 蚊取り線香の上に誤って布団をかけ**出火**

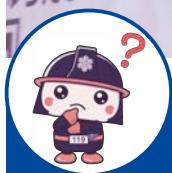
CASE 4 蚊取り線香がカーテンに接触して**出火**

～小さな火種が大きな火災になる！～



はじめよう予防救急

地域のため 大切な人のため



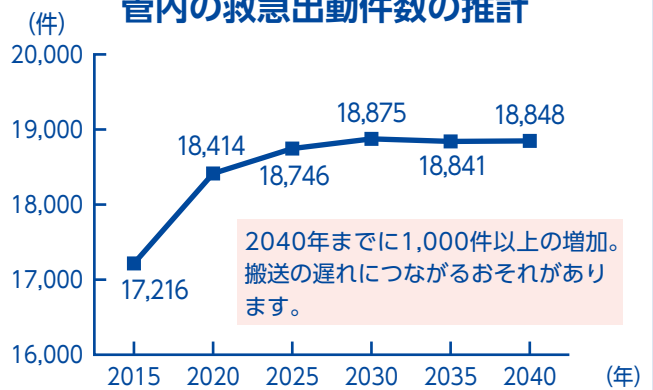
「予防救急」って何？

『予防救急』とは、誰でもできる、身近に潜むけがや病気を予防するための取り組みです。

病気やけがを予防することで、救急出動を減らし、一秒でも早く病院に搬送しなければならない危険な状態にある方のところへ、早く到着できるようにするための取り組みです。



管内の救急出動件数の推計



たとえばこんなこと

転倒

整理整頓

自宅でのケガで救急搬送されたケースの約60%は、居間や寝室など、普段いる場所で発生しています。身のまわりを整理することで、つまづきや、小さな子どもの誤飲などのリスクを減らすことができます。

誤飲

手洗い・うがい

感染症や食中毒のリスクを減らすことができます。

予防救急サポーター養成講習会のお知らせ

○講習内容

救急事例を交えながら、身近に潜むけがや病気につながる危険を知り、予防方法などが短時間(30分)で学べます。さらに、地域やご家族などの身近な人に予防救急を広めて、地域の救急医療に貢献してみませんか？

○受講に関する問い合わせ

受講をご希望の方、詳しい内容を知りたい方は、最寄りの消防署へお問い合わせください。ご希望の日時・場所などを伺い、打合わせをさせていただきます。





健康で充実した夏にしましょう

気温や湿度が高いこの時季は、例年多くの方が熱中症により救急搬送されています。

熱中症は、重症化すると命に関わることもあります。

また、子どもや高齢者は、成人に比べて体温調節が難しいことから発症の危険性が高いため、ご家庭や職場、学校などでの注意や気づきが必要です。

日頃から次のポイントを意識して生活することで熱中症を予防し、健康で充実した夏を過ごしましょう。

予防のポイント



本当にあった熱中症事例 【屋内での発症】

7月下旬、70代の女性が自宅内で家事をしていたところ、動悸やめまいなどの症状により救急搬送され、医療機関で、軽度の熱中症と診断されました。

管内の統計を分析すると、熱中症で救急搬送された60歳以上の方の約8割が屋内で発症しています。

※屋内では、エアコンなどの冷房器具を積極的に利用しましょう。



救急コラム

AEDで「心臓を止める」?



多くの場所で見かけられるようになった「AED」。「救命のために必要なもの」としてご存知の方も多いかと思いますが、知らない方も多い「AED」の果たす役割について紹介します。

心臓の異常な動きを止める

「止まった心臓を動かすもの」と思われている方も多いかと思いますが、本当の役割は「心臓の異常な動きを止める」ことです。異常な動きを止めることで、正常に動き出すことを促すことが、AEDの本当の目的です。

心肺蘇生と組み合わせることが重要

AEDによって心臓の異常な動きを止めただけでは、心臓が正常に動き出す可能性は限りなく低く、胸骨圧迫などの心肺蘇生を行わなければ救命の可能性を最大限まで高めることはできません。

救命には、「早い通報」、「正しい心肺蘇生」と「早いAED」が大切です。

郡山消防本部庁舎を1日限り一般公開

「消防ふれあい広場2019」を開催します

7/20 土

9:30~12:30

郡山消防本部庁舎
(郡山市堂前町5-16)

日常生活で役立つ火災予防や防災、予防救急など、子どもから大人まで、楽しく学べるプログラムが盛りだくさん。

夏休みの思い出に、ご家族やお友達と、ぜひお越しください。

※入場無料、事前申し込み不要

※詳細は6月中にウェブサイトでお知らせします。

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。



郡山地方広域消防組合ウェブサイト・Facebook

郡山消防では、住民のみなさまの防火意識と防災行動力を高めるために、災害情報や災害統計をはじめ、安全・安心につながる情報、けがや事故の予防方法などの生活に密着した消防・防災情報をタイムリーに提供しています。また、イベント情報や時季に応じた注意喚起を発信しています。

なお、より見やすさを重視して、PC、スマートフォン、タブレット端末など、あらゆる端末からのアクセスに対して、画面サイズが最適な表示に自動で切り替わるレスポンスデザインを採用しております。



郡山消防ウェブサイト
Facebook



郡山地方広域消防組合職員募集

～職員採用候補者試験のお知らせ～
(令和2年4月1日採用予定)

- 募集人員 6名程度
- 受験資格 平成6年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた方(学歴は問いません。)
- 申込用紙 最寄りの消防署等で7月1日(月)から配布します。郵便による請求、インターネットによる申込みなど詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。
- 受付期間 令和元年7月19日(金)から8月30日(金)まで
※インターネットによる申込みは8月16日(金)まで
- 第一次試験 実施日：令和元年9月29日(日)
会 場：郡山地方広域消防組合消防本部庁舎
- お問合わせ 消防本部総務課人事教養係
☎024-923-1708



情報公開制度と
個人情報保護制度の運用状況
(平成30年度)

情報公開制度

公文書任意開示申出

実施機関	申出	全部開示	一部開示	不開示	取下げ
管理者	1	0	0	0	1
消防長	2	1	1	0	0

個人情報保護制度

実施機関	請求	全部開示	一部開示	不開示	取下げ
消防長	4	0	4	0	0



この広報紙は、環境にやさしい植物油インキFSC®認証紙とUDフォントを使用して印刷しています。紙ヘリサイクル可。

